



7月6日は「渥美半島メロンの日」

本市は、花きや野菜などの一大産地として有名ですが、メロンの産出額も県内1位を誇る全国有数のメロン産地でもあります。本市では、メロンの消費拡大に向けてメロンの魅力を発信する活動を行っています。

平成28年に茨城県銚田市ほこたで開催された第2回全国メロンサミットでは、全国のメロン産地が集まり、毎月6日をメロンの日と定めました。

なぜ「6日」なのかというと、6という数字がメロンの弦つると玉の形に似ていることと、

収穫後おおむね6日後がメロンの食べ頃であるということとを消費者の皆さんに覚えてもらうためです。

本市では、温室内で1株から1個だけを残し、手塩にかけて育てられる高級メロンのアールスメロン（マスクメロン）や、網目のない鮮やかな黄色の見た目が印象的なイエローキングなどが栽培されています。7月ごろになると本市産のメロンが出そろい、楽しめることから7月6日を「渥美半島田原市メロンの日」と制定して、消費者の皆さんにメロンの魅力を認識していただけるようPRを行っています。



●メロンの日承認証

昨年は、メロンの日に合わせ、名古屋市の星が丘テラスにおいて、若手農家で構成する「田原市4Hクラブ」と連携して本市産メロンのPRイベントを行いました。

また、ナゴヤドームでの本市PRイベントに合わせ、隣接する大型商業施設でメロンを中心としたフェアを行うなど本市産メロンの消費拡大を目指し、PR活動を行いました。



●昨年のイベントの様子

今年も主な出荷先である名古屋市を中心に本市産メロンの魅力を消費者に向けて発信していきます。さらに、販路拡大に向け、香港やマレーシアへ本市産メロンを輸出する事業にも取り組めます。今後も多くの方に「メロンといえば田原市」と認識していただけるように、メロンの消費拡大を目指していきます。

◆お詫びと訂正

広報たはら5月号29ページ、平成29年市町村別農業産出額の田原市（愛知）の金額が間違っておりましたのでお詫びして訂正します。

（誤）8088.3億円 →（正）8033.3億円



6月の

渥美半島の花と鉢花

グロリオサ

（花／出荷時期：通年）

花ことば

栄光、勇敢

反り返っている姿が個性的でアレンジにぴったり。県内1位の生産量で、約61万本出荷されています。



花

ハイビスカス

（鉢花／出荷時期：4月～6月）

鉢花ことば

常に新しい美

枝先に次々と新しい蕾を付け、花を咲かせます。県内1位の生産量で、約37万鉢出荷されています。



鉢